

KANSAI 広域観光 第5 ルート

テーマ：KANSAIで癒しと健康

図 5

Story

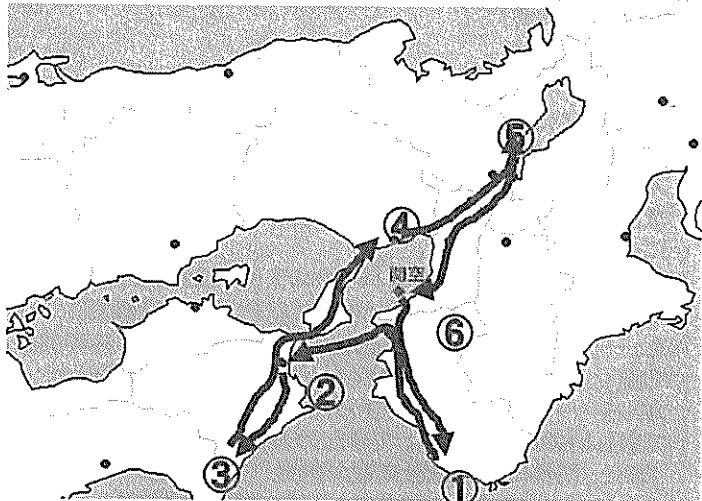
○日本には古から続く温泉地が3000箇所を超えるといわれ、日本の最も古い文献である「古事記」や「日本書紀」、「風土記」、「万葉集」にも温泉地が登場する。

これらによると、「伊予の湯」(道後温泉)、「牛妻の湯」(白浜温泉)、「有間の湯」(有馬温泉)が古くから記され、「日本三古湯」とされる。

古から人々は、温泉を神聖なものとして楽しめ、疲労回復、保養、療養など湯治の目的で利用してきた。温泉地には、温泉だけでなく、環境、食事などによる効果もあり、日本の温泉は、特に露天風呂など、大自然と一体となつた温泉が特徴といえる。

古来からの湯治文化も、近代以降は観光の大きな要素として観光地に姿を変えてきた。

これら四季折々の美しい自然の景観、郷土料理など、心癒す日本文化や心身の癒しと健康を体感する。

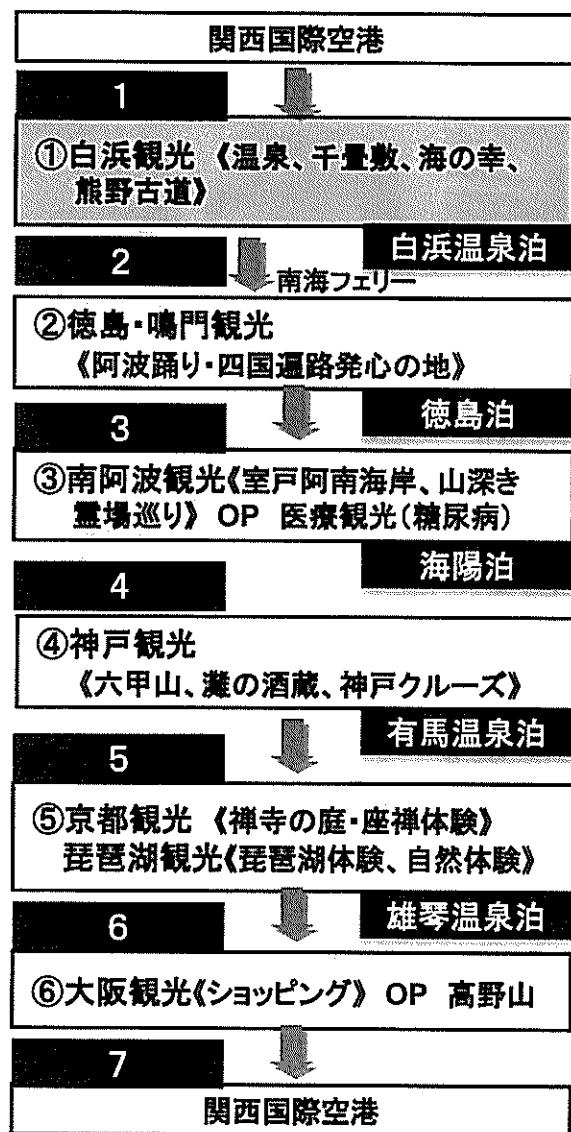


サイドストーリー

古からのヘルスツーリズム

日本では、湯治という、今まで言うところのヘルスツーリズムは古から身近なものであったが、最近は医療観光も含めた癒し、健康、美容を求める観光が注目を浴びている。

長寿国日本としては、自然、環境、健康食である食文化などの生活文化は世界に誇る観光資源といえる。



※他にも高野山の精進料理体験や龍神温泉(日本三美人の湯)などの奥深い資源がたくさん存在。

画像は申請中のものもあり転載不可

KANSAI 広域観光 第6 ルート

テーマ：COOL KANSAI 体感

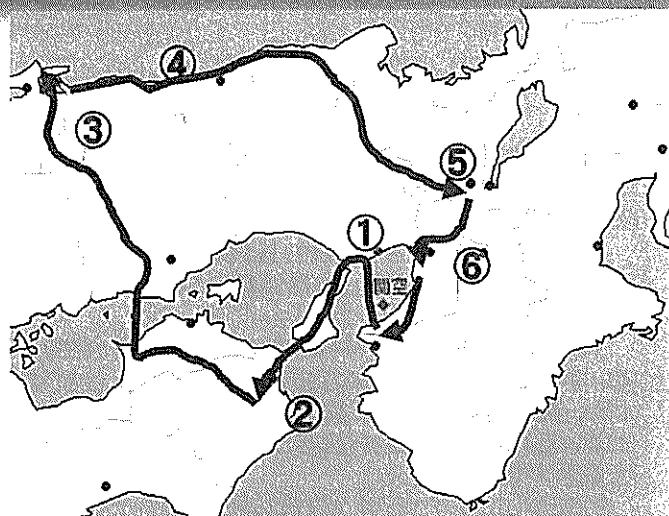
図 6

Story

○世界文化遺産でもある京都の高山寺には、日本最古のマンガといわれる平安時代の鳥獣人物戯画が伝わるように、日本が世界に誇るマンガやアニメの原点がKANSAIにはある。また動物たちを擬人化する想像力は今日のキャラクター文化にも通じるものがある。

現代のマンガ、アニメのバイオニア、手塚治虫の記念館やマンガを研究対象として世界に発信する京都国際マンガミュージアムなど、伝統文化とポップカルチャーが共存共栄して進化しており、今、伝統文化とされるものも、最初はポップカルチャー（大衆文化）であった場合が多く、時代時代によって新しいものを生み出してきたのがKANSAIの特徴といえる。

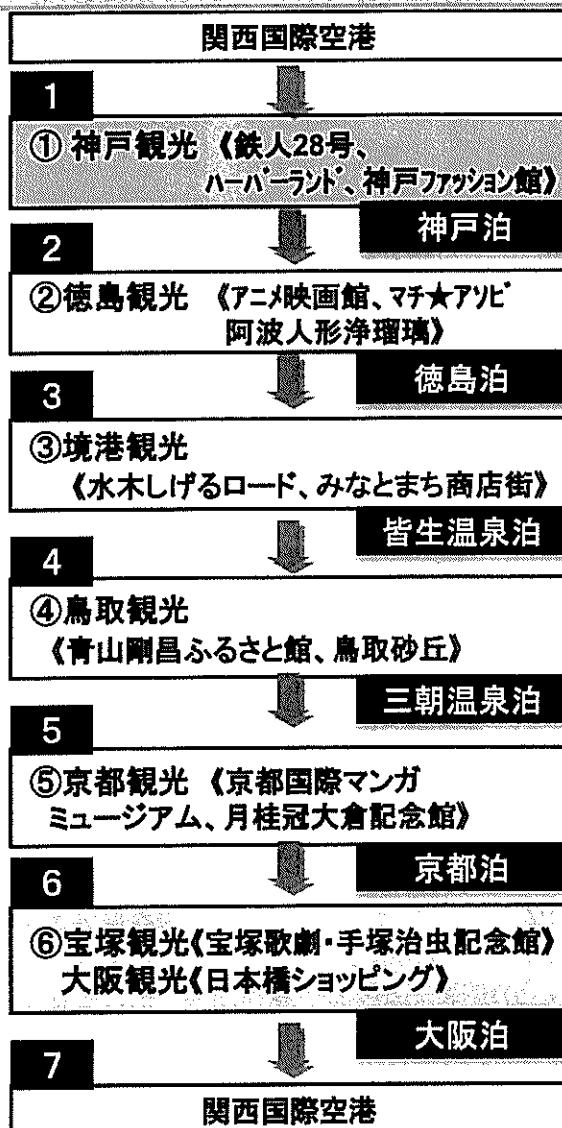
また、同様に伝統と最先端が融合してきたのが「KANSAIのものづくり」である。京都では伝統の匠の技がベンチャーエンターテイメントにも活かされ、東大阪の町工場をはじめとする各地の企業でもKANSAIならではの「技」を受け継いでいるところがある。これら各地に存在するものづくり、コンテンツや、B級グルメなどの食文化も含め、クールなKANSAIを巡り体感する。



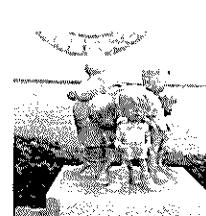
サイドストーリー

新たな聖地巡礼

最近はKANSAIのアニメの舞台を聖地として巡ったりするなど、KANSAIの音楽、小説、ドラマ、映画などの舞台が注目されている。この新たな聖地と若者向けのコンテンツ産業が一体となったコンテンツツーリズムが注目される。



神戸長田 鉄人28号



名探偵コナン
青山剛昌ふるさと館



境港 水木しげる
ロード



阿波人形浄瑠璃



徳島
アニメ映画館・
マチ★アソビ
(春・秋・冬)



月桂冠
大倉記念館



京都国際マンガミュージアム



宝塚歌劇



手塚治虫記念館

※他にも東映太秦映画村、アニメの舞台、サントリーハウス、伝統工芸など、COOLで奥深い資源がたくさん存在。

画像は申請中のものもあり転載不可

KANSAI 広域観光 第7 ルート

テーマ：エンターテインメントKANSAI

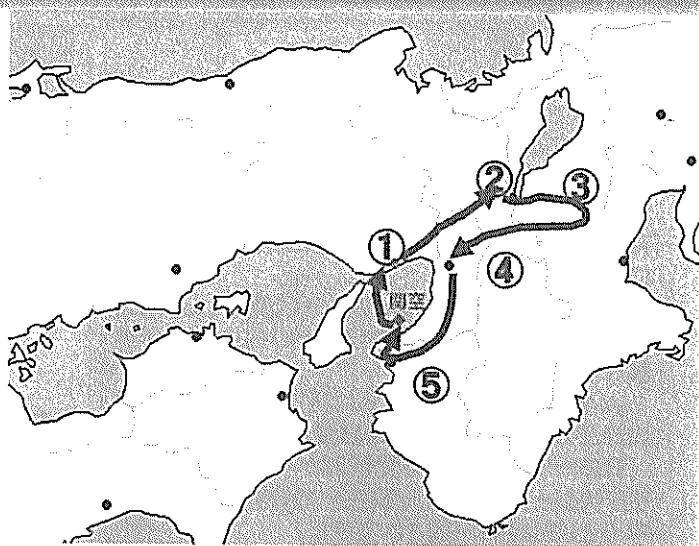
図 7

Story

OKANSAIは、悠久の歴史において、日本の政治・経済・文化の中心であり続けてきたが、その間には、無形世界文化遺産にも登録された伝統三芸能といわれる能楽、歌舞伎、人形浄瑠璃文楽をはじめとする古典芸能や、いろんな形の祭など、様々な文化遺産の発祥の地となり、それらは現在でも各地に伝承されている。

近代に入ると落語、漫才、喜劇等のお笑い文化など、多様なエンターテインメントが生まれ育ったところである。

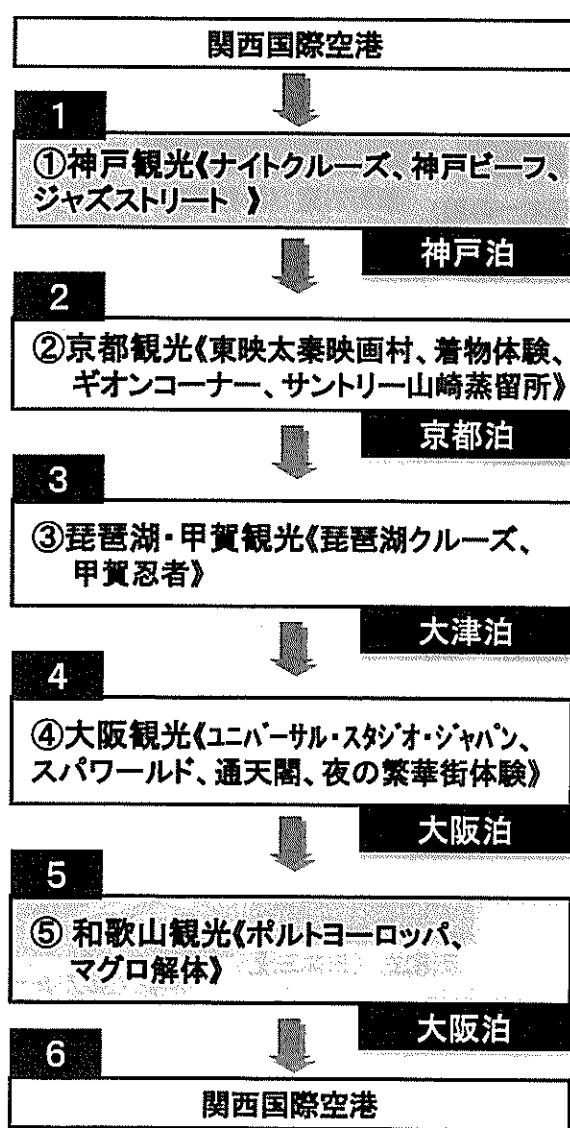
これら各種芸能や各地にあるエンターテインメント施設などを辿り、日本のエンターテインメントの原点を体感する。



サイドストーリー

歌舞伎と宝塚歌劇

創立100周年を迎える宝塚歌劇は女性のみの構成による劇団として、結成以来数多くの人材を排出してきている。一方、京都において、女性である出雲の阿国が男装して始めた「かぶき踊り」が現在の歌舞伎の元祖といわれているが、歌舞伎はやがて男優が女役を演じることになった。それぞれ、その伝統を守り今日、日本を代表するエンターテインメントになっている。これは日本のおおらかな文化により発展してきたものなのか。また、この発想が独特的少女マンガなどマンガ文化にも通じるのでは。



※他にも神戸スイーツ街や能楽・文楽・歌舞伎等の伝統芸能観劇などの奥深い資源がたくさん存在。

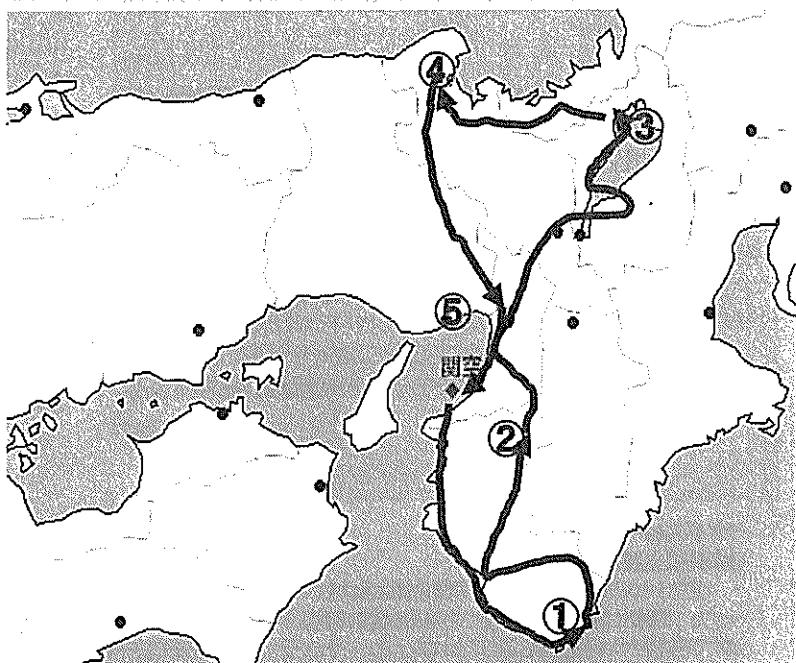
KANSAI 広域観光 第8-1 ルート(東ルート)

テーマ：KANSAIの自然を辿る

図 8-1

Story

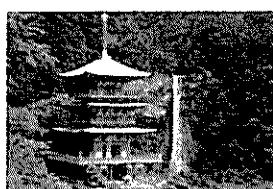
○日本では、古の昔から、人々は多様な気候風土を有する日本特有の自然と共生してきた。
人々は自然を畏敬の念を持って敬い慈しみ、山岳宗教を代表とされるように、自然には神々が存在するとして、各地に神社などが置かれるようになってしまった。
また、仏教など寺院も山中に多く置かれるなど、山の多い日本ならではの自然との共生文化が発展してきたといえる。
人々の生活も自然とともにあり、四季折々の里山などの風景は日本の原風景といえる。
日本一の広さを誇る琵琶湖が400万年の古より古代湖として存在し、今まで貴重な動植物を中心とした自然が残されてきた。
これらの自然とともに生きてきた知恵、文化も含めた自然環境を体感する。



関西国際空港

1

①那智勝浦観光《熊野古道、那智の滝》
串本観光《サンゴ礁の海》



2

那智勝浦温泉泊

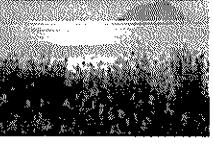
②高野山観光《高野山体験、精進料理》



3

高野山泊

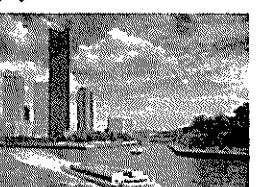
③琵琶湖観光《琵琶湖の自然体験、竹生島、琵琶湖博物館》



4

高島泊

④舞鶴、天橋立観光《赤れんが博物館、舞鶴港遊覧、天橋立パワースポット》



5

天橋立泊

⑤大阪観光《水都大阪クルーズ、ショッピング》

※他にも近江八幡の水郷めぐりや嵐山保津川下りなどの奥深い資源がたくさん存在。

6

大阪泊

関西国際空港

KANSAI 広域観光 第8-2 ルート(西ルート)

テーマ：KANSAIの自然を巡る

図 8-2

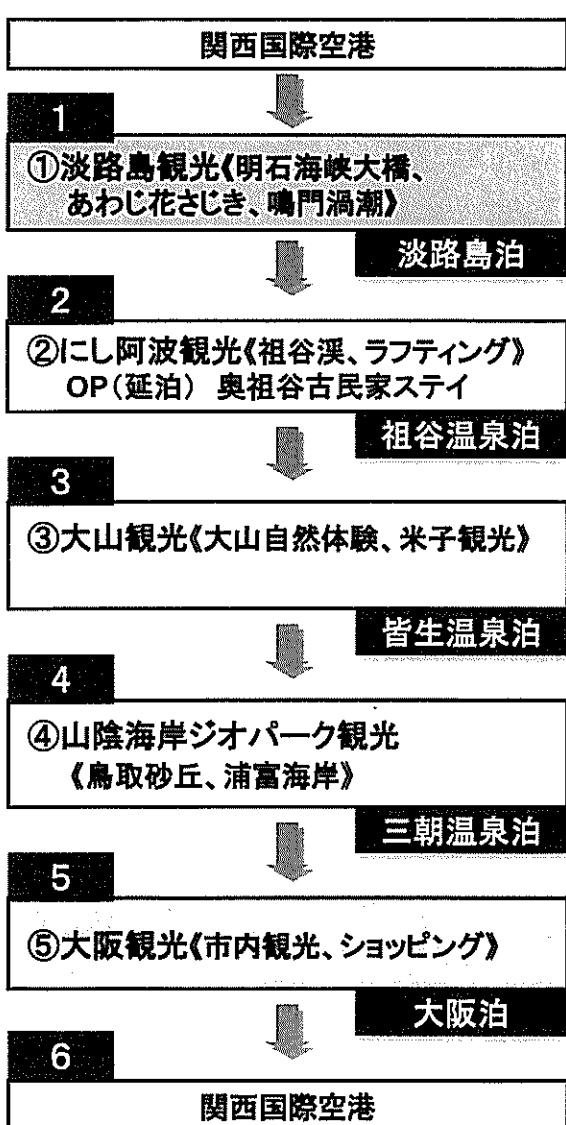
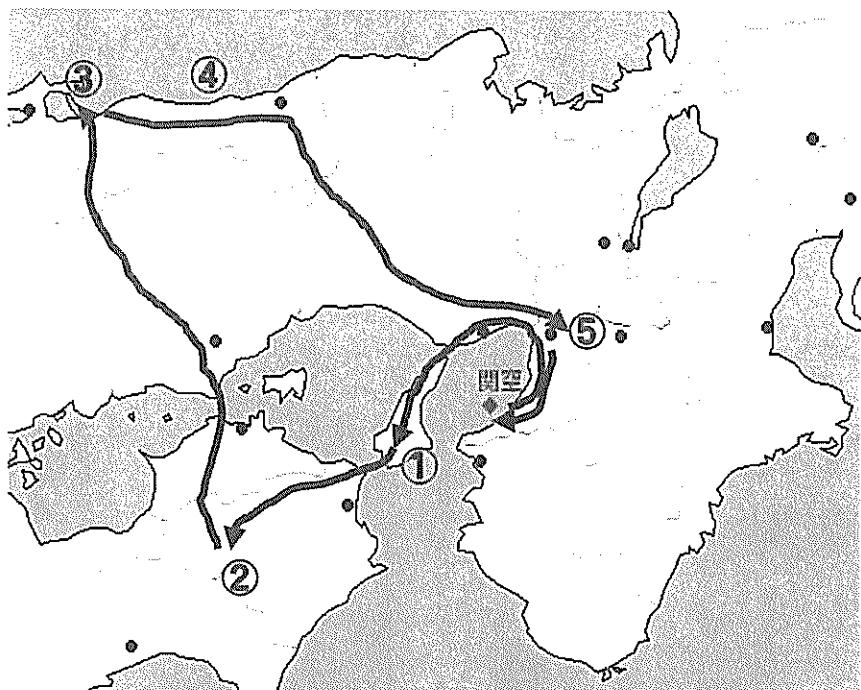
サイドストーリー

四季とともに育まれてきた日本文学

○古代の万葉集に始まり、四季折々の豊かな自然、山紫水明、花鳥風月を季語を用いて詠んだ俳句や短歌など、多くの人々により、今日までに生み出されてきた。

また物語など数多くの古典文学にも四季折々の自然は数多く登場してきた。

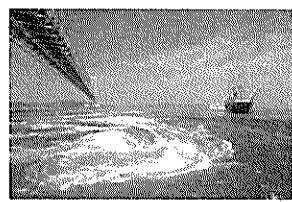
その題材となり、畏敬の念を持って接してきた自然の舞台が今日どうなっているのか、歴史・文化遺産や現代の文学、アニメ、映画などの舞台とともに巡る旅もお薦め。



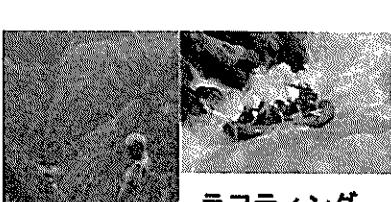
明石海峡大橋（世界一）
と孫文記念館



あわじ花さじき



鳴門渦潮（世界三大潮流）



ラフティング



祖谷渓（日本三大秘境）



山陰海岸ジオパーク
(大地の公園・地質遺産)



鳥取砂丘（日本一）

大山（日本四名山）

※他にも氷ノ山などの奥深い資源がたくさん存在。

画像は申請中のものもあり転載不可